

# とらいあんぐる菅生

<http://sugao-ky.hn.infoseek.co.jp>

E-mail:toraianguru@mx81.tiki.ne.jp

TEL&FAX 976-0444

## 「プラス1学習会」 スタート

菅生中学校区地域教育会議 生涯学習委員会は、2008年秋から菅生中学校において、希望の生徒を対象に、放課後の時間を利用して地域有志ボランティアによる「プラス1学習会」を開いている。その様子を伺った。

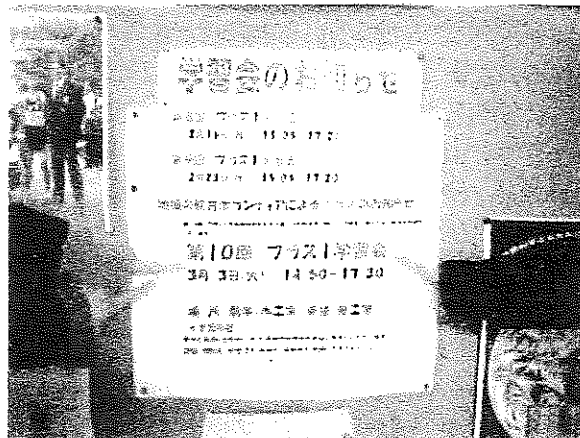
### ◆「プラス1学習会」の様子と学校の協力

「プラス1学習会」は、川崎市中学校学習診断テスト対策として、3年生の希望生徒を対象に実施されたのがスタート。今年1月からはほぼ毎週1回、全学年を対象に開かれるようになり、ひとつの学習の場として定着してきています。

菅生中学校の金井校長をはじめとした諸先生方の協力もいただきながら今後の「プラス1学習会」のカタチを探っています。

### ◆生涯学習委員会の山田さんにお話を伺いました。

昨年8月21日、「地域と学校で学力アップを」をテーマに公開学習会を開催しました。「プラス1学習会」は、公開学習会での提案を総括した“地域に支援を望みたい。地域は何とか力になりたい”という声を具体化したもので、菅生中学校と地域の協働で始まりました。地域は講師をボランティアで引き受け、学校は学習会の日程の調整、掲示板や月間行事予定表などで子どもたちへの広報を行なっております。子どもたちは、それぞれに課題を持って学習会に参加、講師は子どもひとり一人のニーズに合わせて対応しています。子どもたちが参加する際、できるだけ負担にならないよう、気軽に来られるようにと当日になっての自由参加の形をとっています。講師にとって参加人数の状況や課題の内容は当日教室に行ってから分かるという不便さがありますが、何よりも「子どもたちが参加しやすいために」を優先してのことです。今はまだ、運営上の不備をその都度修正しつつ、講師・学校・生涯学習委員会とで意見交換しながらよりよいカタチを探っているのが現状で、講師の方々の学習会への深いご理解に支えられています。この「プラス1学習会」が、子どもたちにとって学力アップのためだけな



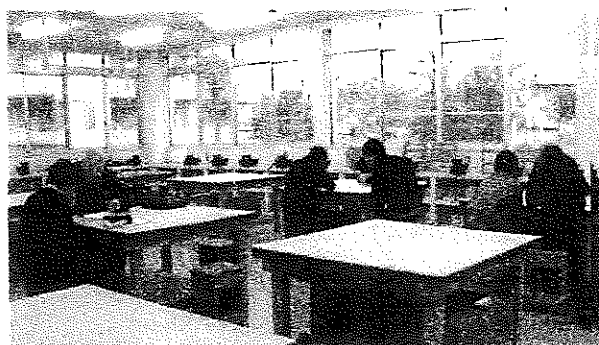
く、先生・保護者以外の大人とのふれあいの中で何かを感じてもらえたら・・・そして地域に顔見知りの人が増えることに大きな意義があると思っています。少人数ですが毎回のように参加している子どもがいます。回を重ねることでこの子どもたちの居場所のひとつになればいいなあと心の片隅で期待をしています。

### ◆ボランティア講師の生駒さんにお話を伺いました。

部活や委員会、塾などの時間を調整しながら参加している生徒もいます。時間がないときは顔だけ見せにきてくれることもあってとても嬉しい。ボランティアの人たちは、少しでも子どもたちの力になれる喜びや、子どもたちとのふれあいが楽しくて学校へ行っています。分からないことがあったらどんなことでも気軽に聞きにきてほしいと思います。

### ◆取材して

「プラス1学習会」は、勉強だけでなく、その場を通じ人とのコミュニケーションを学び、また自分で考えて、成し遂げる経験や小さな達成感を積み重ねる場となっているようです。それにより、子どもたちが物事に前向きに力強く対応できる人になってほしいと強く感じました。その姿を応援しながら見守っていきたいものです。



# 地域教育会議に 新プロジェクトいま、菅生の子どもたちは

昨今、子どもたちのいろいろな問題が数多く取りざたされています。虐待・育児放棄、あるいは問題行動・暴力・学習障害。こんなニュースが毎日、目に耳に飛び込んできます。菅生のまちだけは「地上の楽園」でしょうか？ 今はまだそれほど大きな問題はないかもしれませんが、なんの心配もないといえるのでしょうか？

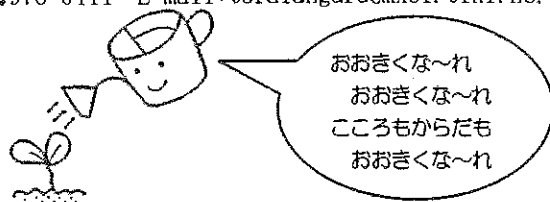
日々多くの子どもたちに接している地域教育会議のメンバーは、ときどき不安を感じると言います。子どもたちはみんな必要な保護を受けられているのだろうか？ 健康・健全に成長しているのだろうか？ 小さな不安が大きな問題へと変化してしまうとも限りません。

そこで私たち菅生の地域教育会議では、この地域の子どもたちの現状を知ることからはじめてみようと考えました。学校や子ども文化センターなど家庭以外

の場で、なにを考え、どうしているのか。もしそこになにか小さな不安があるのなら、地域住民の力が助けになるかもしれません。

昨年暮れ、このことがらに取組むための新プロジェクトが立ち上がりました。地域で何ができるのか話し合っています。委員長は菅生子ども文化センター館長・針山です。ただいまの委員は10名。なにか情報やご意見のある方、新プロジェクトに参加をご希望の方は、いつでも菅生子ども文化センターまでお寄せください。皆様のご協力をお待ちしています。

連絡先：菅生子ども文化センター・針山  
☎976-0444 E-mail: toraianguru@mx81.tiki.ne.jp



## 中学生の自主企画 菅生子ども文化センター

# Let's Try ～中学生の力は無限大∞～

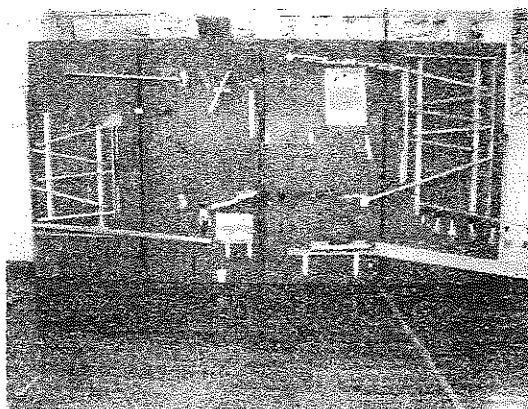
12月から、菅生子ども文化センター運営協議会市民自主学級として中学生の手による企画「Let's Try ～中学生の力は無限大∞～」が始まった。

ところが、いざ蓋を開けてみると、やりたい気持ちがあっても自由がきかない中学生の実像が浮かび上がってきた。夜は塾通い・日曜日も部活にと中学生には休みがほとんどないのが実情だ。彼等の予定は、部活によって明日も左右されるという状況なのだ。「今度はこれそうだよ」という嬉しそうな顔が「ダメだ。明日試合だって」とすまなさそうに断りにやってくる。実行委員として名乗りをあげた中学生ですら参加はままならない。

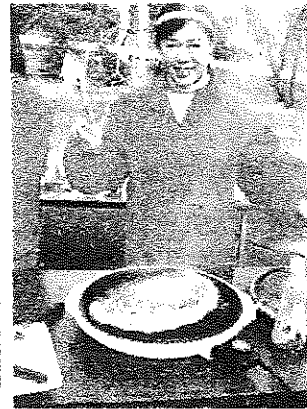
それでも、何とか都合をつけて参加してくれた中学生たちは、その力を見せつけた。

それぞれのプログラムに、助っ人としての講師陣も「主体は中学生」と決して前面に出ることはなく、それでも大切な

ところはしっかりフォロー。中学生食堂の講師の大沼さんは、いつのまにか「大将」と呼ばれていた。プロの大工道具を持ち込んだ隣崎さん、電気の知識を何気なく伝授してくれた出口さん。「こんな大きな餃子作ったことがない」と言いながら粉の扱いを教えてくれた金さん。そして忙しい中ピタゴラスイッチの始球式に駆けつけてくれた金井校長先生。大人の力があってこそ、中学生の力が発揮されている。



完成したピタゴラスイッチ



焼きあがった巨大餃子と講師の金さん

# 菅生音楽祭 5年目

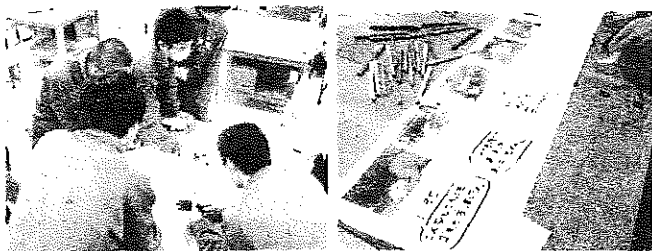


昨年12月13日、菅生中学校において、地域教育学習委員会主催の「第5回菅生音楽祭」が催されました。今回の参加者・来場者合わせて400名、幼児からお年寄りまで多くの方々が楽しい一日を過ごしました。多数寄せていただいたアンケートからひとつご紹介します。「広い会場で多くの地域の人が集まったの音楽祭で、とてもすばらしい企画です。小学生・中学生だけでなく、保育園・わくわくプラザ・地域の各団体の参加体制もとても活発でいいですね。音楽を愛する菅生の街づくりに大きな位置づけとなっていくことでしょう。参加しながら聴きあうというのもとてもよいと思います」。また来年が楽しみです！

## 菅生中学校区子ども会議「まちづくり」 活動のふりかえりワークショップ

なかなかスケジュールが組めない中、12月5日、ようやく菅生中3年生の実行委員を中心に集まりました。昨年3月に行ったフィールドワークを振り返り、今後に向けて考えるワークショップ。ファシリテータは昨年度も来ていただいた大枝奈美さん。わずか1時間あまりの中で、模造紙にまち歩きの写真にコメントを入れ、絵巻物のような作品が完成。作品をもとにどんなまちづくりがいいかを考えるための資料となりました。

菅生中学校区の子ども会議は、地域の大人や先生のサポートを受けながら、子どもたちが自分たちの住んでいるまちについて、自分たち自身で考え、行動する場です。子どもたちに無理がないよう、わずかな時間でも回を重ねて進めていきたいと思えます。



## 「おとなにも知ってほしい」と中学生

菅生中学校文化教室 10月25日(土)で  
「子どもの権利って？」をテーマに講座開催

毎年、地域の多彩な講師を招いて行われる菅生中学校の文化教室。地域教育会議としても、子どもたちに権利について考えてもらおうと「子どもの権利って？」の講座を受け持っています。クイズやワークショップをしながら、家庭や学校での日常生活の中から「安心して生きる権利」や「自分で決める権利」などについて楽しく学びます。中学生たちは話し合いや発表を通して自然に権利を自分のこととしてとらえていきます。子どもの権利はおとなへと一人立ちしていくために大切なこと。参加した子どもたちは、「子どもの権利が守られていないことが意外に多いことがわかった」「権利とわがままの違いがわかった」「子どもの権利についておとなにも知ってほしい」「他人の権利も尊重できるようにになりたい」「来年も参加したい」などの積極的な意見があがりました。

## 第2回 みやまえ映像コンクール 4月より 13:00~15:00 区役所ロビーで上映会

2月28日、土橋小学校で開催。司会は、菅生中  
の出倉くんと佐藤くんがつとめてくれました。

子どもたちの力作が菅生小からの応募も含め、13  
本もそろいました。

主催者「くみん・シネマ」の篠澤さ  
んは、「1本5分の作品が13本並び  
とまるで宮前区の宝物絵巻を見るよう  
だ」と語っていました。菅生地域でも  
上映する機会があるといいですね。



## 報告 子どもの権利シンポジウム

宮前区地域教育会議の子ども会議が、12月6日に  
開催されました。午前中は、子どもの権利についての  
ワークショップを行いました。午後は、子どもの権利  
について中学生とおとなが対話しました。中学生の参  
加者は24名。菅生中学校からは3名が参加し、活発  
に発言していました。

終了後のアンケートからは、「子どもの意見が聞け  
た」、「おとなとの意見交換も良かった」と好評。「続  
けることに意味がある」など応援の声もありました。

一方で、子どもの参加を学校推薦だけでなく一般に  
も募集してはどうか、おとながもっと参加するような  
工夫を、など課題も残されました。

# 菅生中学校区地域教育会議 公募委員 になりませんか？

## 地域教育会議とは

「川崎の教育を市民参加のもとに考え、市民が自らの責任として教育を行うための自主的民主的な組織」（川崎市教育懇談会提言1986年）として、川崎市の7行政区、52中学校区に創設されたものです。菅生中学校区地域教育会議は、1994年に発足、この地域のさまざまな教育問題について考え、行動してきました。

## 会議の構成は

PTA・子ども会・自治会・防犯・青少年指導員・民生委員・こども文化センターなどの地域選出委員、小中学校の先生方・地域の公的機関委員などですが、もう一つの構成員として、公募委員があります。

## 公募委員とは

「菅生中学校区に在住・在勤・または中学校区でボランティア活動をしている人」が対象です。任期は2年ですが、随時参加していただくことができます。参加をご希望される方は、事務局にお問合せください。

菅生中学校区地域教育会議事務局 TEL976-0444（菅生こども文化センター内）

## 「川崎の地域教育会議ハンドブック」完成 ～地域教育会議って、なーに？～

川崎市地域教育会議推進協議会編のハンドブックが発行されました。サブタイトルは「市民自治の教育への取り組みをめざして」。地域教育会議の誕生・歩み・これからなど盛りだくさん。興味のある方に差し上げますので、事務局にお問い合わせください。ぜひ、活用してください。

## 菅生こども文化センター前道路拡幅工事

富国生命グランド跡地に建設予定の有料老人ホーム工事に伴う道路拡幅工事が本年4月から始まり、11ヶ月間の工期となります。こども文化センターとして安全確保に最善を尽すよう申し入れをしました。

## 「全市地域教育会議交流会」

テーマ「子どもの安全・安心」

—3月14日(土)13:00～ 高津市民館で—

川崎市の7行政区、52中学校区の地域教育会議が一堂に会する交流会が3月14日に開催されます。

各地域教育会議の展示のほかに、下記お二人の講演が予定されています。

奥田義雄（教育委員会インターネット相談窓口相談員）

田中伸一（防犯ネットワーク理事長）

どなたでもご参加いただけます。

# 防衛省協の広場 最終計画案まとまる

2月7日、昨年から検討されてきた防衛省技術研究所横の空き地（平成19年川崎市により「菅生ヶ丘特別緑地保全地区」として指定・3000㎡）についての保全管理計画の最終回の話し合いが、行政と住民とで行われた。それについて、前回に引き続き一の丸自治会長・川口尊志さんにお話を伺った。

これまでの意見を行政がまとめ、「菅生ヶ丘特別緑地保全地区保全管理計画書（案）」として提案された。それを踏まえて、今後の活動についてなどが話し合われた。

今後の活動としては、近隣自治会から世話人を2～3名出してもらい、保全管理協議会の準備会としていく。その後、規約や管理体制を行政と連携しながら作成し、協議会設立の運びとなる。協議会では、具体的な保全管理計画を立て、運営していく。

「現在の地形を生かしながら、みんなで考え、みんなが使えるような場所にしていきたい。7年前からこの土地を地域の人が使えるようにとみんなでやってきたことがやっと実った」と川口さんはうれしそうに語り、また「これからは協議会を中心に、春と秋の下草刈り、畑づくり、散歩道づくり、植樹のことなどみんなで話し合ってやっていきたい。ただ予算の問題や保全地区としての規制などがあるので、これからも行政と協働し、話し合いながらみんなで知恵を出し合って楽しく利用できるような場所を作っていきたい。」とのことだった。

